

## 福岡市 25 年度予算 (1 兆 7,941 億円) が 3 月 26 日、可決成立しました

2 月 18 日から 3 月 26 日まで 2 月補正を含めて 14 ヶ月予算審議を行い、提出議案 115 件を可決し、成立しました。

福岡市の予算規模は、一般会計 7,596 億円と特別会計、企業会計を合計すると 1 兆 7,941 億円になりました。24 年度より若干減少していますが、政府の緊急経済対策 (2 月補正) を含めると、24 年度当初より 7,119 億円増加したことになります。

### ◆福岡市 25 年度の事業を数点紹介します◆

今後の政策推進の柱は、

#### ① 生活の質の向上…子どもやグローバル人材の育成と強い絆の地域づくり



市民公益活動の推進として活動費の助成や共同事業提案制度等を行う。

保育所待機児童解消に向け 1900 人分の整備を進め保護者へ情報提供や助言のための保育コンシェルジュを配置する。

#### ② 都市の成長…観光・集客、MICE 誘致や都心部機能強化

都心部の再生として天神・博多駅など回遊性を高める。また、地下鉄延伸などの交通マネジメント施策に取り組む。

大河ドラマやフィギアスケート世界大会で世界から観光客を集客する。

中小企業の振興と就労支援を強化する。

#### ③ 優先順位の最適化…ビルト & スクラップ

財政規律を保ちながら橋や道路のニューデール策を実施する。道路照明灯も LED 化する。

こども病院、新青果市場、新体育館、市民文化会館、東区市民センターを順次、建替える。

## 政令市初の市営ソーラー発電所が完成しました!

福岡市西区今津にある埋立地に 3,840 枚のソーラーパネルを設置し、発電出力は、1メガワット、発電量は年間 116 万 kw 時 (約 220 世帯分) を発電する施設です。

この施設は、15 年リースで設置し、その後は、無償貸与を受け 20 年間稼働させる予定です。

また、26 年度には、福岡市東区の埋立地にも設置する予定で進みます。

市負担を減らすエネルギー政策の第 1 歩がスタートしました。



メガソーラー発電所で高島市長・地元代表・黒子、川辺、山口議員と撮影。(2 月 8 日)

# 25年度条例予算委員会で 総会質疑を行いました

山口つよし議員は、25年3月22日に条例  
予算特別委員会で質疑を行いました。

質疑項目は、「市の観光戦略について」

「地域住民の名簿と活用について」

「入札制度について」の3テーマです。



## ◆ 観光戦略について ◆

昨年、福岡市の入り込み観光客は1,678万人で微増。その内外国人は約59万人と減少傾向にあるので映画等のロケ地を紹介するフィルムコミッション事業にもっと手を入れるべきと指摘しました。本年度から拡充されます。また、26年にはNHK大河ドラマで「軍師・官兵衛」が放送決定しました。関係自治体である姫路市や中津市などの取り組みを紹介し、本市でも積極的にアピールすることを提案。中でも高知市のようにボランティアガイドの充実で、また福岡市に來たいといわれる施策の重要性を主張しました。

**※ 発言・答弁の詳細は、福岡市議会ホームページの発言録をご覧ください！**

ご意見・ご質問・ご要望をお寄せ下さい

TEL:711-4728 FAX:741-4597 <議員控室>

### 山口つよし

昭和33年7月1日  
福岡市生まれ(54歳)  
H15.4 初当選  
H23.4 3期目当選



## ◆ 地域名簿について（災害時対策） ◆

個人情報保護法の制定後、地域の世帯名簿が閲覧できなくなり災害時の要援護者などの避難が地域で掌握できなくなっています。

そこで、地域住民の共助を進めるために役所と地域との名簿提供の締結を急ぐとともに（現在146校区中107校区が締結）ケアマネジャーなどが保有するデータを災害対策本部に集約し情報の共有に取り組むべきと指摘しました。今後、システム改修を行い対応できるようにするとの答弁がありました。



## ◆ 入札制度改革について ◆

一般入札について災害時など本市を支援している地場企業に対するインセンティブ発注（横浜市で導入）を提案しました。これは優先的に受注する機会を増やす施策です。本市も導入に向けての検討を始めるよう財政局に要請しました！



姫路市の「軍師官兵衛」の取り組みを紹介（写真）